

洪水ハザード情報について

平成27年の水防法改正に基づき、須川・前川（県管理河川）で想定できる最大規模の降雨による浸水想定区域が公表されました。以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

氾濫の種類

外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。

内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。

説明（外水氾濫）

- この「マップ」で使用しているハザード情報は、須川・前川が、大雨によって氾濫した場合、洪水が想定される区域とその浸水の深さを示したものです。
- 雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。
- 川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害（床上・床下浸水など）が起こる場合があります。十分注意しましょう。



河川浸水の改正後の目安

5.0m以上の区域	———
3.0～5.0m未満の区域	2階の軒下まで浸水する程度
0.5～3.0m未満の区域	1階の全てが浸水する程度
0～0.5m未満の区域	大人の膝まで浸水する程度

洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報（気象庁）

- 洪水によって災害がおこるおそれがあると予想したときに発表されます。

洪水警報（気象庁）

- 洪水によって重大な災害がおこるおそれがあると予想したときに発表されます。

指定河川洪水予報など

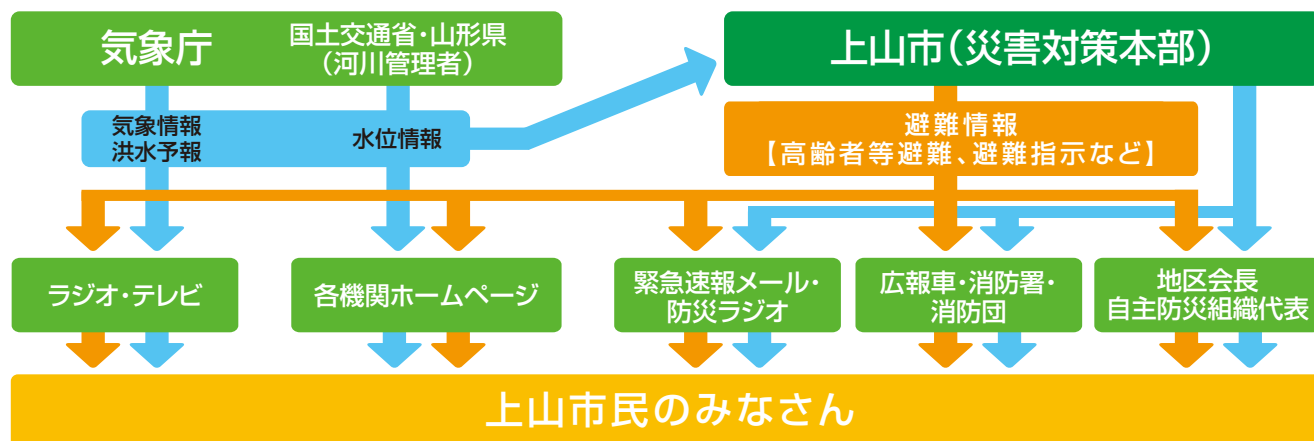
- 須川は洪水予報河川、前川は水位周知河川に指定されており、避難判断水位に達したとき山形県が「避難判断水位到達情報」を発表します。

警戒レベル		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
河川名	観測所名	水防団待機水位（通報水位）	氾濫注意水位（警戒水位）	避難判断水位	氾濫危険水位（特別警戒水位）
須川上流	石堂	1.10m	1.60m	1.80m	2.10m
	楢下	1.30m	1.80m	———	———
	坂巻	1.50m	2.50m	2.60m	2.80m
前川	河崎	1.70m	1.90m	2.10m	2.70m
	北町	1.30m	1.40m	1.60m	2.00m
避難情報発令基準		———	———	高齢者等避難	避難指示

※基準水位や現況水位は、「山形県河川・砂防情報」で確認できます。
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/bousai/>

洪水情報の伝達ルート（土砂災害情報も同じ）

- 気象の異常に対して、下図の伝達ルートで皆さんへお知らせします。



情報がなくても、異常気象（短時間での豪雨等）を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。